

いじめ防止に係る具体的な取組

R2.4

固定化された人間関係の中で生徒が登校している。早期発見、早期対応及び事後の継続した対応が必要【KeyWord】人間関係固定化。早期発見、対応。指導継続性。

生徒に 関すること

■生徒の実態・ニーズの的確な把握

- ・ 生徒にしっかり寄り添いながら「心のサイン(悩みや不安、ストレス等)」を敏感に感じとる、職員の自覚認識 ⇒ 職員のいじめ研修
- ・ 「心の体温計」を基軸にした、確実な実態把握と全職員による情報共有
- ・ 教育相談の更なる充実 ⇒ 指名制による教育相談
- ・ 加害生徒の継続指導、被害児童のSCによるケア、他生徒への指導
- ・ 事案発生後の被害生徒の安全確保 ⇒ **休憩時間等の見回り強化**
- ・ **道徳授業でいじめに関する内容**
- ・ **きらめきの活用**

関係機関等 との連携

■保護者・SC・市教委・関係機関との積極的な連携協働

- ・ 「報告・連絡・相談」の徹底及び管理職の迅速かつ的確で、具体的な指示による組織対応 ⇒ **いじめに関する問い合わせは管理職対応**
- ・ 保護者の連携 ⇒ **説明責任、支援・ケア協力等**
- ・ 市教委・SCとの組織的な連携 ⇒ **連携態勢構築**
- ・ 実効性のある、いじめ防止対策推進委員会の開催

組織体制の 強化と徹底

■勤務体制の強化

- ・ 地域・保護者との連携
- ・ 校舎内見回りの徹底
- ・ 環境美化活動の充実
- ・ 緊急時における危機管理マニュアルの再確認